

## 江田島きゅうり 新規就農研修が修了

【平成 28 年 7 月 21 日掲載】

7月1日、江田島市役所において、江田島市新規就農研修修了式が行われました。峰崎泰昌(みねさきやすまさ)さんは、市の研修第4期生として、特産のきゅうりについて、2年間研修ハウスでの実地研修や西部農業技術指導所などによる座学研修を受け、この度、無事に修了しました。現在は約11aのハウスで9月からの秋作定植に向け準備中です。

実地研修当初は、農業に不慣れなこともあって、きつと感じたり、きゅうりに異常があっても、原因が分からないために対処できなかつたり、不安になることもあったそうですが、実地研修で江田島市きゅうり部会(山田隆見(やまだたかみ)部会長、部会員27名)員からの指導を受けながら経験を重ね、今では冷静にきゅうりの生育を観察し、栽培管理ができるまでになりました。また、研修中の今年春作からは一人で栽培を手掛けることになり、「定植前のきゅうりの苗に愛着がわき、改めて責任も強く感じました。」ときゅうり栽培に前向きに取り組む決意を新たにしたとのこと。

峰崎さんは、研修前に青年海外協力隊員として西アフリカの農村で過ごした際、現地の人々が家族で農業を営んでいる姿を見て、「自分もいつかは、食べ物を作るという大地に根差した暮らしをし、地域産業が元気になるよう貢献したい。」と思い、地元江田島市での就農を志しました。

田中達美(たなかたつみ)市長は、「農業の知識がないところから、ここまでよく努力



【市長から修了証を受け取る峰崎さん】

された。これからも、農業で生計を立てられるよう頑張ってもらいたい。」と激励し、峰崎さんも「今後の研修生の模範になるよう、自分のできることをやっていく。」と答えました。市では、これまで4名の研修修了生が就農しており、現在平成28年度の研修生を募集しています。